

小学校理科教育パワーアップ事業

テーマ

子どもたちの知的好奇心を喚起し、活用する力を高めることができる理科学習の創造
日野町立黒坂小学校

○取組の目的と概要

本町では、課題提示の方法を工夫したり、体験的な活動を学習過程に位置づけたりして、すべての子どもたちの学習意欲を高め、学力の向上につなげていくという実践に取り組み、徐々にではあるが授業力の向上とそれとともに学力の伸長が見られてきている。

昨年度に引き続き、理科学習における授業力の向上に焦点をあて、それを通して全教科での問題解決的な学習を重視した授業力の向上を図る。その取組を通して、子どもたちが自ら課題を把握、解決する力を高めるとともに、確かな学力を身に付けていくことを本事業の目的とする。

○取組の具体

児童の思考の流れを大切にした授業づくり



児童の興味関心を高める事象との出会いを大切にしています。児童の疑問から始まる単元構成や授業づくり、ユニバーサルデザインによる見通しをもった学習を行い、主体的に関わり合いながら進んで追究する児童の育成を目指しています。

地域資源の活用、体験活動の重視



黒坂地区の豊かな自然を活かし、児童が直接体験する中で得た感動や驚きを大切にしています。そして、驚きや疑問の中から自分なりの課題を持ち、追究し続ける中で科学する楽しさや喜びを実感し、学習意欲がより高まるようにしています。

週1回の根雨小学校でのT・T授業



理科パワーアップ事業の担当教員が根雨小学校に行って、担任とT・Tで学習しています。黒坂小学校の取組を紹介したり、お互いの取組の良さや工夫を活かしたりして、町全体でより良い授業づくりを進めています。

授業研究会による教師の指導力アップ



岡山大学大学院の藤井浩樹教授を指導・助言者に迎え、校内の取組を公開しています。町内や郡内、県内からも先生方に参加していただき、黒坂小学校の実践をもとにしながら、授業研究会でお互いの実践を交流しています。

○取組の成果

- ・1学期に行ったアンケートで「理科（生活科）の学習が好きですか。」という項目の肯定的回答が100パーセントで、昨年度の89パーセントよりアップした。理科や生活科を学ぶ楽しさを感じられる児童が増えた。
- ・1学期に行った理科の標準学力調査の結果が、全国の平均よりも全学年とも高かった。問題解決的に学んだことが確かな学力につながった。
- ・授業研究会を10月末までに3回行い（年間4回実施予定）、町内小学校2校合同の授業研究会も行った。鳥取県小学校教育研究会日野郡部会との連携や県内小学校への情報発信により他校からの研究会への参加が昨年度より増え、拠点校としての取組を広めることができた。教員の授業力向上にもつながった。
- ・月1回、理科PU通信を鳥取県西部地域の全小学校に向けて送付し、黒坂小学校の取組を昨年度より幅広くお知らせすることができた。

○課題と今後の方向性

- ・日野川や滝山公園等の豊かな自然環境や地域資源を活用し、直接体験する学習を重視した単元構成や授業づくりをさらに進め、主体的に学び続ける子どもの育成を目指す。
- ・理科や生活科で身に付けた学びを他の教科や領域に広げ、児童の確かな学力の定着に結びつける。
- ・町内や郡内、県内西部の学校に積極的に取組を発信し、拠点校として自校の取組の成果を拠点地域に還元する。